

(国際経済・外交に関する調査会)

国際経済・外交に関する調査報告（中間報告） 要旨

本調査会は、国際経済・外交に関し、長期的かつ総合的な調査を行うため、令和元年十月四日に設置され、三年間の調査テーマを「海を通じて世界とともに生きる日本」と決定した。

二年目の調査では、極域をめぐる諸課題への取組、海洋における生物の多様性の保全と生物資源の持続可能な利用に向けた課題と取組、洋上風力発電やゼロエミッション船など脱炭素社会に向けた取組と課題、海洋環境の保全及び海洋気象に関する諸課題への対応、海洋の安全確保等に向けた課題と取組、並びに海洋に係る教育及び人材育成の現状と課題について、計十七名の参考人から意見を聴取し、質疑を行ったほか、「海を通じて世界とともに生きる日本」について、委員間の意見交換を行った後、これらを調査報告（中間報告）として取りまとめ、令和三年六月二日、議長に提出した。

同報告書では、調査会における参考人の意見陳述、主要論議及び委員間の意見交換について、それぞれの概要を整理し、取りまとめている。